

令和元年度 第2四半期

厚生年金保険給付組合積立金 管理及び運用実績の状況



公立学校共済組合

目次

令和元年度 第2四半期運用実績の概要	2
令和元年度 市場環境（第2四半期）	3
令和元年度 資産の構成割合	5
令和元年度 運用利回り	6
（参考）平成30年度 運用利回り	7
令和元年度 運用収入の額	8
（参考）平成30年度 運用収入の額	9
令和元年度 資産額	10
（参考）平成30年度 資産額	11
用語解説	12

令和元年度 第2四半期運用実績の概要

- 第2四半期末の積立金残高は 2兆3,680億円となりました。
- 第2四半期の修正総合収益率は 1.04%、実現収益率は 0.66%となりました。
- 第2四半期の総合収益額は 232億円、実現収益額は 134億円となりました。

(単位：億円)

	令和元年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
時価残高	21,775	23,680	—	—	
(簿価残高)	19,823	21,588	—	—	
修正総合収益率	0.16%	1.04%	—	—	1.20%
(実現収益率)	0.78%	0.66%	—	—	1.44%
総合収益額	36	232	—	—	267
(実現収益額)	157	134	—	—	292

(注1) 収益率及び収益額は、当該期間中に精算された運用手数料等を控除したものです。

(注2) 各四半期及び年度計の収益率は、期間率です。

(注3) 上記数値は速報値のため、年度末の決算等において、変更になる場合があります。

※ 情報公開を徹底する観点から、四半期ごとに運用状況の公表を行うものです。

年金積立金は長期的な運用を行うものであり、その運用状況も長期的に判断することが必要です。

総合収益額は、各期末時点の時価に基づく評価であるため、評価損益を含んでおり、市場の動向によって変動するものであることに留意が必要です。

令和元年度 市場環境（第2四半期）

【各市場の動き（7月～9月）】

- 国内債券：** 10年国債利回りは、日銀が長短金利操作付き量的・質的金融緩和政策を継続する中、8月に米中貿易摩擦が激化しグローバルに金利低下圧力がかかり、低下しました。その後は米中貿易交渉の進展に対する期待から上昇する局面もありましたが、9月の金融政策決定会合で日銀が追加緩和に前向きな姿勢を示すと、月末にかけて低下（債券価格は上昇）しました。
- 国内株式：** 国内株式は、米中貿易摩擦の激化を受けた米国株式の下落や為替が円高となったことを受け、8月下旬にかけて下落したものの、その後は日米欧の中央銀行の緩和的な金融政策による景気下支え期待や、米中貿易交渉の進展に対する期待から、上昇しました。
- 外国債券：** 米国10年国債利回りは、8月に米中貿易摩擦の激化を受け、低下しました。9月に入り、米中貿易交渉の進展に対する期待から上昇しましたが、米トランプ大統領の弾劾問題等を受け、低下（債券価格は上昇）しました。ドイツ10年国債利回りは、英国の合意なきEU離脱懸念やドイツの実質GDP成長率がマイナスとなったことを受け、低下（債券価格は上昇）しました。
- 外国株式：** 米国株式は、追加利下げ期待の高まりから上昇後、8月に米中貿易摩擦の激化を受け下落しましたが、その後は米中貿易交渉の進展に対する期待から、上昇しました。ドイツ株式は、ユーロ圏の景気減速懸念や軟調な米国株式市場に連れて下落しましたが、9月に入り米中貿易交渉の進展に対する期待やドイツの財政出動期待が高まり、上昇しました。
- 外国為替：** ドル/円は、米国長期金利低下を背景に、8月に105円台まで円高ドル安が進行しましたが、9月に入り米国長期金利の上昇に伴い、円安ドル高となりました。ユーロ/円は、英国のEU離脱懸念の高まりや、ユーロ圏の景況感悪化を背景に円高ユーロ安となりました。

○参考指標

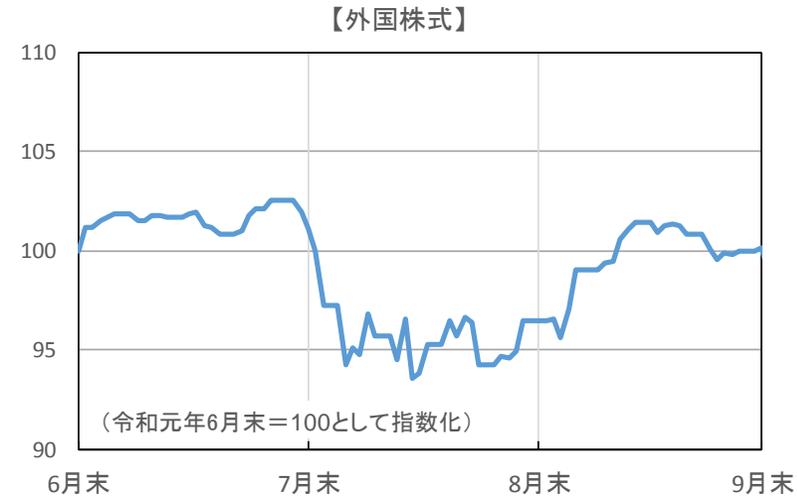
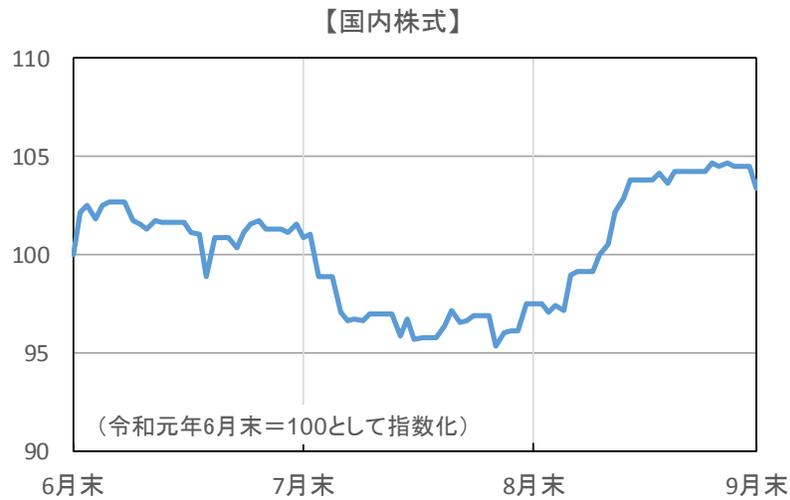
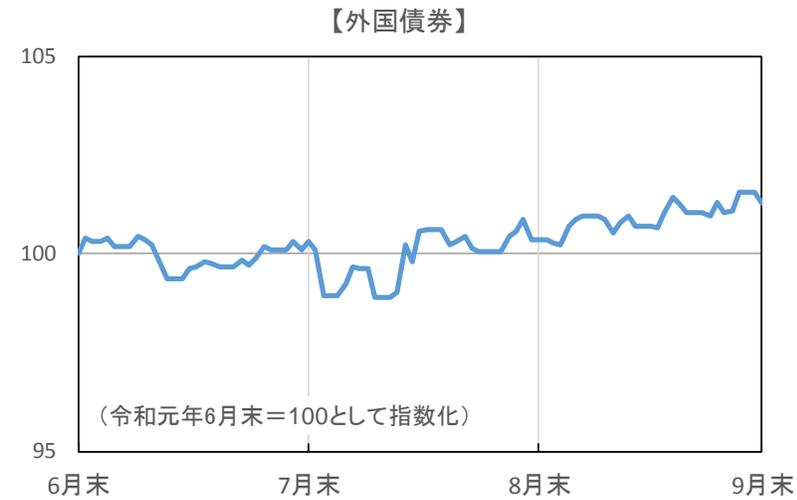
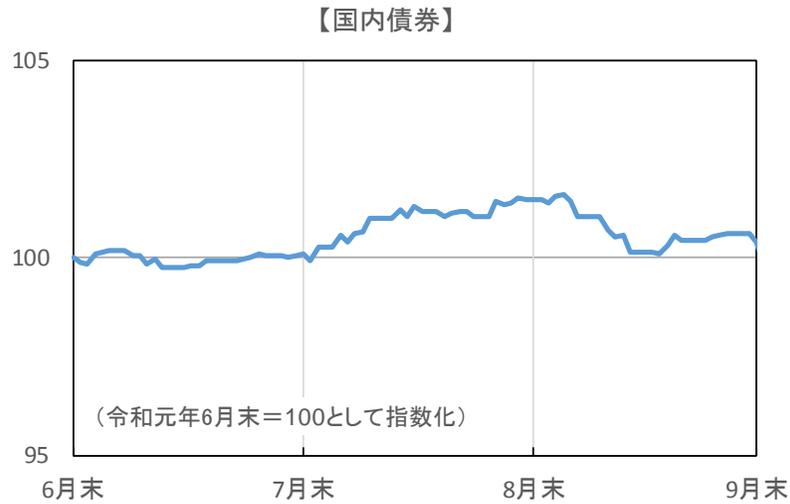
		R元年6月末	7月末	8月末	9月末
国内債券	10年国債利回り (%)	-0.16	-0.15	-0.27	-0.21
国内株式	TOPIX配当なし (ポイント)	1,551.14	1,565.14	1,511.86	1,587.80
	日経平均株価 (円)	21,275.92	21,521.53	20,704.37	21,755.84
外国債券	米国10年国債利回り (%)	2.01	2.01	1.50	1.66
	ドイツ10年国債利回り (%)	-0.33	-0.44	-0.70	-0.57
外国株式	NYダウ (ドル)	26,599.96	26,864.27	26,403.28	26,916.83
	ナスダック (ポイント)	8,006.24	8,175.42	7,962.88	7,999.34
	ドイツDAX (ポイント)	12,398.80	12,189.04	11,939.28	12,428.08
	イギリスFT100 (ポイント)	7,425.63	7,586.78	7,207.18	7,408.21
外国為替	ドル/円 (円)	107.74	108.58	106.15	108.08
	ユーロ/円 (円)	122.69	120.89	116.89	117.82

※ドル/円、ユーロ/円はMMロイター（ロンドン16時）

(ベンチマーク収益率)

令和元年7月～9月	
国内債券 NOMURA-BPI総合	0.40%
国内株式 TOPIX（配当込み）	3.39%
外国債券 FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）	1.32%
外国株式 MSCI ACWI（除く日本、円ベース、配当込み）	0.17%

【ベンチマークインデックスの推移（7月～9月）】



(注) 市場ベンチマークインデックスは以下のとおり。

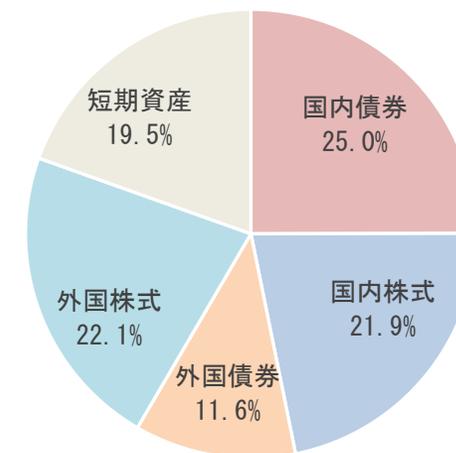
国内債券: NOMURA-BPI総合、国内株式: TOPIX(配当込み)、外国債券: FTSE世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)、
外国株式: MSCI ACWI(除く日本、円ベース、配当込み)

令和元年度 資産の構成割合

(単位：%)

	平成30年度	令和元年度			
		第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	年度末
国内債券	27.4	27.1	25.0	—	—
国内株式	21.9	21.9	21.9	—	—
外国債券	12.4	12.4	11.6	—	—
外国株式	23.4	24.1	22.1	—	—
短期資産	14.9	14.5	19.5	—	—
合計	100.0	100.0	100.0	—	—

第2四半期末 運用資産別の構成割合



(注1) 基本ポートフォリオは、国内債券35% (±15%)、国内株式25% (±14%)、外国債券15% (±6%)、外国株式25% (±12%) です。

(注2) 上記数値は四捨五入のため、各数値の合算は合計値と必ずしも一致しません。

(注3) 上記数値は速報値のため、年度末の決算等において、変更になる場合があります。

令和元年度 運用利回り

- 第2四半期の修正総合収益率は1.04%、実現収益率は0.66%となりました。
- 資産別の修正総合収益率については、国内債券は0.24%、国内株式は4.07%、外国債券は1.36%とプラスの収益率となりましたが、外国株式は△0.37%とマイナスの収益率となりました。

(単位：%)

	令和元年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
実現収益率	0.78	0.66	—	—	1.44
修正総合収益率	0.16	1.04	—	—	1.20

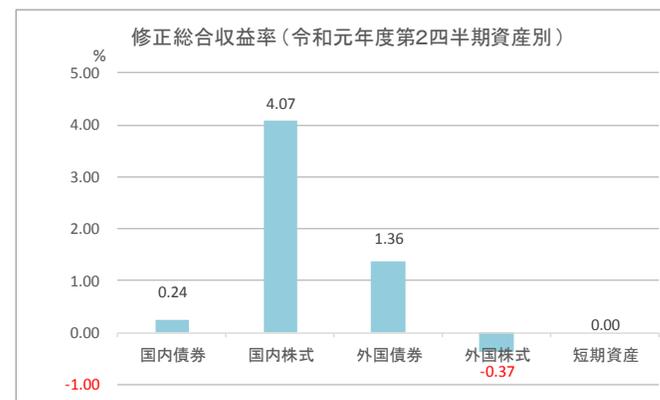
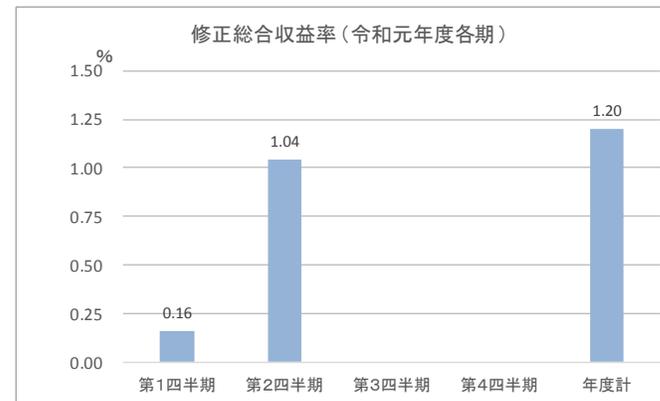
	令和元年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
修正総合収益率	0.16	1.04	—	—	1.20
国内債券	0.86	0.24	—	—	1.11
国内株式	-2.47	4.07	—	—	1.55
外国債券	0.70	1.36	—	—	2.07
外国株式	1.63	-0.37	—	—	1.26
短期資産	0.00	0.00	—	—	0.00

(注1) 収益率は、運用手数料控除後のものです。

(注2) 各四半期及び年度計の収益率は期間率です。

(注3) 修正総合収益率は、実現収益率に時価評価による評価損益の増減を加味したものです。

(注4) 上記数値は速報値のため、年度末の決算等において、変更になる場合があります。



(参考) 平成30年度 運用利回り

(単位：%)

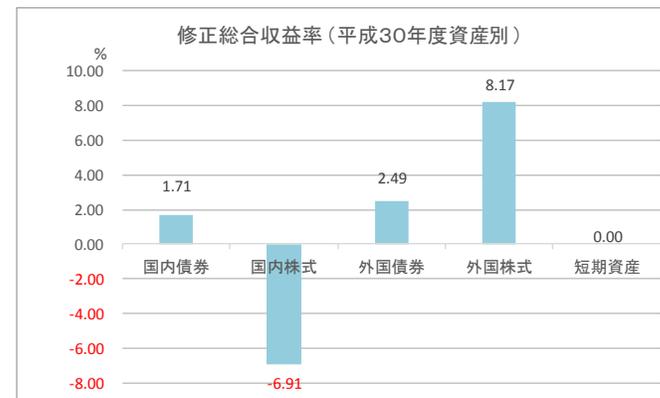
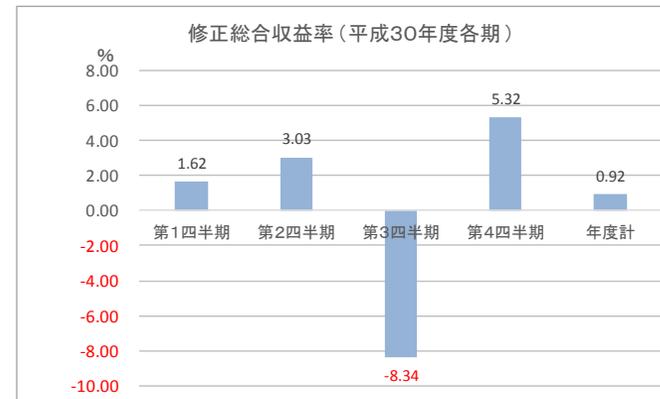
	平成30年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
実現収益率	1.15	0.83	0.35	0.46	2.76
修正総合収益率	1.62	3.03	-8.34	5.32	0.92

	平成30年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
修正総合収益率	1.62	3.03	-8.34	5.32	0.92
国内債券	0.42	-0.46	0.78	0.98	1.71
国内株式	0.50	5.74	-18.73	7.62	-6.91
外国債券	0.76	1.42	-2.44	2.82	2.49
外国株式	6.23	7.13	-16.37	14.28	8.17
短期資産	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(注1) 収益率は、運用手数料控除後のものです。

(注2) 各四半期の収益率は期間率です。

(注3) 修正総合収益率は、実現収益率に時価評価による評価損益の増減を加味したものです。



令和元年度 運用収入の額

- 第2四半期の総合収益額は232億円、実現収益額は134億円となりました。
- 資産別の総合収益額については、国内債券は14億円、国内株式は200億円、外国債券は37億円とプラスの収益額となりましたが、外国株式は△20億円とマイナスの収益額となりました。

(単位：億円)

	令和元年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
実現収益額	157	134	—	—	292
総合収益額	36	232	—	—	267

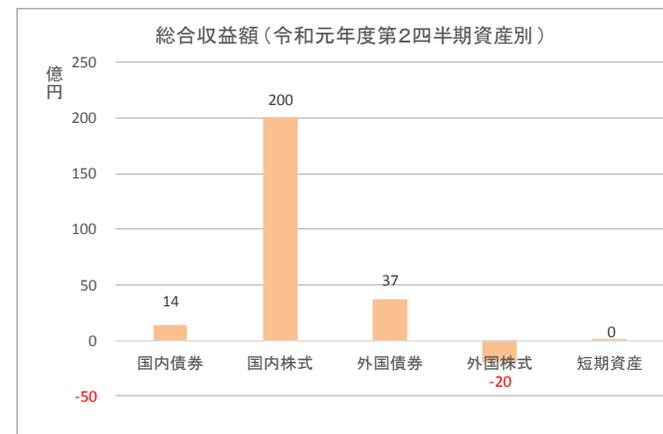
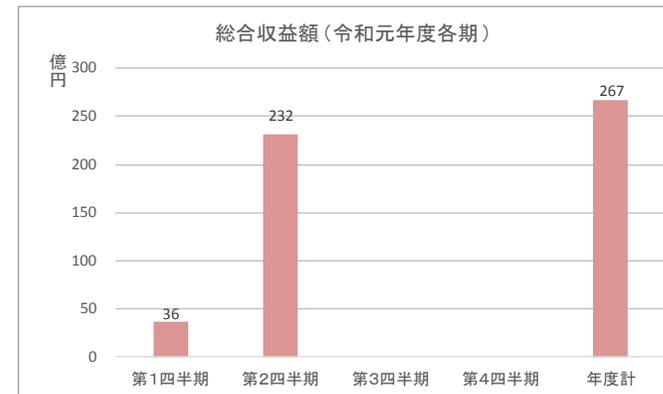
	令和元年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
総合収益額	36	232	—	—	267
国内債券	52	14	—	—	66
国内株式	-123	200	—	—	78
外国債券	19	37	—	—	56
外国株式	87	-20	—	—	67
短期資産	0	0	—	—	0

(注1) 収益額は、運用手数料控除後のものです。

(注2) 総合収益額は、実現収益額に時価評価による評価損益の増減を加味したものです。

(注3) 上記数値は四捨五入のため、各数値の合算は合計値と必ずしも一致しません。

(注4) 上記数値は速報値のため、年度末の決算等において、変更になる場合があります。



(参考) 平成30年度 運用収入の額

(単位：億円)

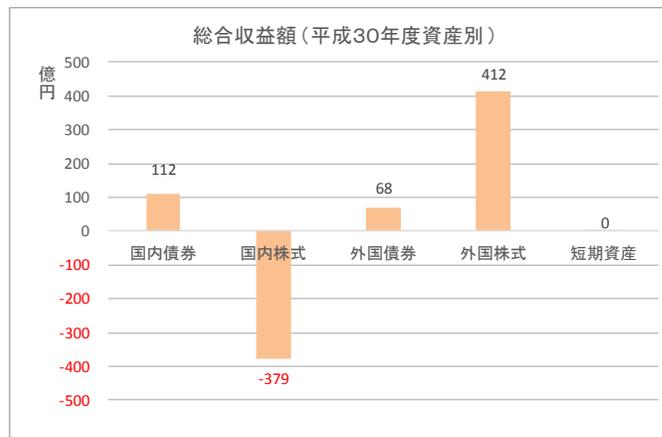
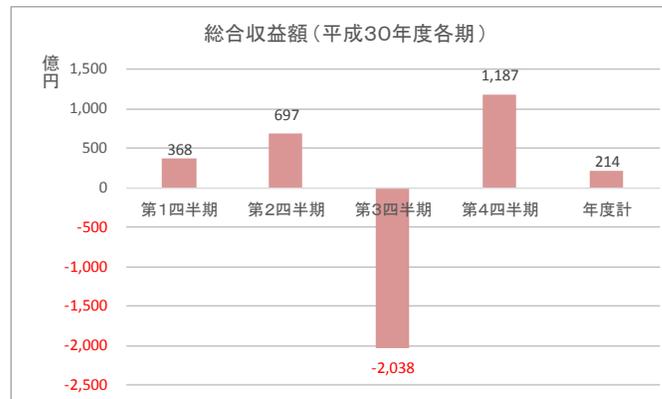
	平成30年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
実現収益額	234	169	75	97	574
総合収益額	368	697	-2,038	1,187	214

	平成30年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
総合収益額	368	697	-2,038	1,187	214
国内債券	29	-29	49	62	112
国内株式	27	311	-1,077	361	-379
外国債券	20	40	-70	79	68
外国株式	292	376	-940	684	412
短期資産	0	0	0	0	0

(注1) 収益額は、運用手数料控除後のものです。

(注2) 総合収益額は、実現収益額に時価評価による評価損益の増減を加味したものです。

(注3) 上記数値は四捨五入のため、各数値の合算は合計値と必ずしも一致しません。



令和元年度 資産額

(単位：億円)

	令和元年度											
	第1四半期末			第2四半期末			第3四半期末			年度末		
	簿価	時価	評価損益	簿価	時価	評価損益	簿価	時価	評価損益	簿価	時価	評価損益
国内債券	5,307	5,898	591	5,341	5,913	571	—	—	—	—	—	—
国内株式	4,504	4,775	271	4,707	5,175	467	—	—	—	—	—	—
外国債券	2,717	2,705	-12	2,724	2,742	18	—	—	—	—	—	—
外国株式	4,144	5,247	1,103	4,192	5,227	1,035	—	—	—	—	—	—
短期資産	3,151	3,151	0	4,624	4,624	0	—	—	—	—	—	—
合計	19,823	21,775	1,952	21,588	23,680	2,092	—	—	—	—	—	—

(注1) 上記数値は四捨五入のため、各数値の合算は合計値と必ずしも一致しません。

(注2) 上記数値は速報値のため、年度末の決算等において、変更になる場合があります。

(参考) 平成30年度 資産額

(単位：億円)

	平成30年度											
	第1四半期末			第2四半期末			第3四半期末			年度末		
	簿価	時価	評価損益	簿価	時価	評価損益	簿価	時価	評価損益	簿価	時価	評価損益
国内債券	5,734	6,324	590	5,741	6,272	531	5,753	6,306	553	5,833	6,380	547
国内株式	4,529	5,403	874	4,556	5,714	1,157	4,688	4,736	49	4,715	5,097	382
外国債券	2,687	2,636	-51	2,896	2,876	-20	2,907	2,806	-101	2,935	2,885	-50
外国株式	3,781	4,939	1,157	4,243	5,715	1,472	4,293	4,775	482	4,336	5,459	1,124
短期資産	3,346	3,346	0	4,327	4,327	0	3,701	3,701	0	3,467	3,467	0
合計	20,077	22,647	2,570	21,763	24,903	3,140	21,341	22,325	983	21,286	23,289	2,003

(注) 上記数値は四捨五入のため、各数値の合算は合計値と必ずしも一致しません。

用語解説（50音順）

- 基本ポートフォリオ
統計的な手法により定めた、最も適格と考えられる資産構成比（時価ベース）です。
- 許容乖離幅
資産構成比が基本ポートフォリオから乖離した場合には、資産の入替え等を行い乖離を解消することとなります。しかし、時価の変動等により小規模な乖離が生じるたびに入替えを行うことは、売買コストの面等から非効率であるため、基本ポートフォリオからの乖離を許容する範囲を定めており、これを許容乖離幅といいます。
- 厚生年金保険給付組合積立金
組合が厚生年金保険給付のため管理運用する積立金です。
- 修正総合収益率
時価ベースで運用成果を測定する尺度の1つです。実現収益額に資産の時価評価による評価損益増減を加え、時価に基づく収益を把握し、それを元本平均残高に前期末未収収益と前期末評価損益を加えたもので除した時価ベースの比率です。算出が比較的容易なことから、運用の効率性を表す時価ベースの資産価値の変化を把握する指標として用いられます。
(計算式)
$$\text{修正総合収益率} = \left[\text{売買損益} + \text{利息・配当金収入} + \text{未収収益増減 (当期末未収収益 - 前期末未収収益)} \right. \\ \left. + \text{評価損益増減 (当期末評価損益 - 前期末評価損益)} \right] \div (\text{元本平均残高} + \text{前期末未収収益} + \text{前期末評価損益})$$
- 総合収益額
実現収益額に資産の時価評価による評価損益増減を加えることにより、時価に基づく収益把握を行ったものです。
(計算式)
$$\text{総合収益額} = \text{売買損益} + \text{利息・配当金収入} + \text{未収収益増減 (当期末未収収益 - 前期末未収収益)} \\ + \text{評価損益増減 (当期末評価損益 - 前期末評価損益)}$$
- ベンチマーク
運用成果を評価する際に、相対比較の対象となる基準指標のことをいい、市場の動きを代表する指数を使用しています。

組合で採用している各運用資産のベンチマークは以下のとおりです。

- ・ 国内債券

- NOMURA-BPI 総合

- 野村證券株式会社が作成・発表している国内債券市場の代表的なベンチマークです。

- ※ NOMURA - BPI 総合（以下「対象インデックス」という。）は、野村證券株式会社が公表している指数で、その知的財産権は同社に帰属します。

- なお、同社は、対象インデックスを用いて行われる当組合の事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。

- ・ 国内株式

- TOPIX（配当込み）

- 東京証券取引所が作成・発表している国内株式の代表的なベンチマークです。東証第一部の基準時の時価総額を100として、その後の時価総額を指数化したものです。

- ※ TOPIX配当指数の指数値の標章は、東京証券取引所の知的財産であり、この指数の算出、指数値の公表、利用など株価指数に関するすべての権利及びTOPIX配当指数等の標章に関するすべての権利は東京証券取引所が有します。

- ・ 外国債券

- FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）

- FTSE Fixed Income LLCが作成・公表している、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスで、国際債券投資の代表的なベンチマークです。

- ※ このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

- ・ 外国株式

- MSCI ACWI（除く日本、円ベース、配当込み）

- MSCI Inc. が作成する日本を除く先進国及び新興国で構成された株式のベンチマークです。

- ベンチマーク収益率

- ベンチマークの騰落率で、いわゆる市場平均収益率のことです。